

- 本資料は、研修会の対象である「教職員・学校関係者・子ども若者支援の関係者・修復的対話サークルに関心のある方」が読まれることを念頭において作成しています。

中学校での実践報告

2023年8月25日(金) 10:00-

認定NPO法人修復的対話の会

修復的対話を学校で実践するために 対話の研修会 第二部

NPO法人修復的対話フォーラム 理事

早稲田大学 教育・総合科学学術院 助教

藤本 啓寛(ふじもと たかひろ)

tkhr_fjmt_encounter13894@yahoo.co.jp

当法人の紹介

- 2013年に設立。

定款第3条(目的)

この法人は広く一般市民を対象に、人々の間で損なわれた関係を再構築するため、修復的対話の基本理念(個々人を尊重し、未来に向けた生き方を全員で探る)に基づき、学校及び、地域における研修事業やトラブル解決のためのファシリテーション事業等を行い、もって地域社会の安心と安全の実現に寄与することを目的とする。

- **現在はRJサークルを、東京都内のいくつかの中学校を中心に展開。**
 - 各学校からの依頼を受けて法人内で参加可能なサークルキーパーを募る。
 - 初めて実施する学校等には、事前に教職員に研修を実施することも。
 - 当日は学校に来校したうえでいくつかのグループに分かれて修復的対話サークル(RJサークル)を実施、担当教員(管理職等)と共に振り返りを行ったうえで退校。
- **毎月1回の定例会(現在はZoom)にて、RJサークル実施に向けての打ち合わせや、参加者内でのRJサークルの実施、会員同士の交流を図る。**
- **会員の属性は多様。**学校でRJサークルを展開していることから、スクールソーシャルワーカー(経験者)、教員(経験者)、学校や子どもの問題を取り扱っている弁護士、その他相談援助職(経験者)等や大学教員が参加している。

小学校と比較する中学校の特徴

• 小学校との違い①:教員の指導観(佐々木2013)

- 小学校:よさを見つける指導(「支援」・「言葉かけ」・「見届ける」)
- 中学校:自主性や自立を促す指導(「指導」・「説得」・「責任」・「礼儀」・「集団」)

• 小学校との違い②:学習に取り込むモチベーション(酒井1995)

- 小学校:“教師との絆”という情緒的関係
- 中学校:進学に向けた準備教育を介した指導的關係



• 小学校との違い③:児童生徒間の仲間関係の違い(戸ヶ崎2000)

- 小学生(低学年):「家が近い」・「席が近い」といった相互的接近で結びつく
- 小学生(高学年):「同情・愛着(親切・かわいい)」等で結びつく
- 中学生:「同情・愛着」に加えて「尊敬・共鳴(勉強ができる、気が合う)」等で結びつく

酒井朗(1995)「選抜機関としての中学校—小学校との接続関係に注目して—」木原孝博『社会的自立をめざす生徒指導』第一法規, pp.34-57.

佐々木秀之(2013)「小学校編 互いの文化を理解し共通の考え方のもとに指導する」『教職研修』42(4), pp.39-41.

戸ヶ崎泰子(2000)「中学生の心理と指導」谷田貝公昭・林邦雄・成田國英『教育心理学』一藝社, pp.49-58.

3

学校から当法人に声がかかる主な理由・経緯

• いじめ防止対策

- 学校内における人間関係のトラブルの予防を目的として、講演会等に活用できる予算が用いられて声がかかる。
- 中には、いじめの重大事件後に依頼がある学校も。⇔予防的なRJサークル

• 関係者の紹介や口コミ

- 修復的対話フォーラムに参加したりイベントに出席した方が、自身のご職場等で実施したいと申し出をいただくことがある。
- RJサークルを実施していた学校から別の学校へと異動した先生が、異動先の学校でも実施したいと申し出ていただくこともある。

• 法人への直接的な連絡



4

テーマ1 ひとりひとりの色

- ① 今の気持ちを色に例えるとどんな色ですか、それはなぜですか。
- ② 自分を色に例えると、どんな色だと思いますか。それはなぜですか。
- ③ 自分が大切にされたと感じた時を思い出してみてください。それはどんな時で、色で
- ④ 表すとしたらどんな色ですか、それはなぜですか。
- ⑤ 大切な人に送りたい色はどんな色ですか。それは誰で、なぜその色を選んだのですか。
- ⑥ あなたが将来になりたい姿を色に例えると、どんな色ですか。それはなぜですか。
- ⑦ あなたが大人になった時、どんな色の社会であってほしいですか。

色紙の使用

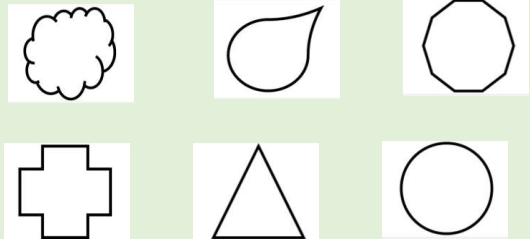


5

テーマ2 カタチ

- ① 今の自分の気持ちをカタチに例えるとどんなカタチですか。それはなぜですか。
- ② あなたが「面白いな」「何か印象に残るな」と感じるカタチはどれですか。その理由も教えてください。
- ③ 週末の過ごし方をカタチに例えるとどんなカタチですか。それはなぜですか。
- ④ 人に贈りたいと思うカタチはどれですか。よかったらそれはあなたにとってどんな人で、それを贈りたい理由も教えてください。
- ⑤ 自分はどんなカタチの環境の中にいると思いますか。その理由も教えてください。
- ⑥ 明日、または将来、どんなカタチの気持ちで過ごしたいと思いますか。よかったら理由も教えてください。

カタチカードの使用



6

他にはこんなテーマも

テーマ3 大切

- ① あなたが大切にしているものはなんですか。それはなぜですか。
- ② あなたが大切にしている時間はどんな時間ですか。それはなぜですか。
- ③ あなたが大切にしている人はどんな人ですか。それはなぜですか。
- ④ あなたが大切にしている日常の習慣やルールを教えてください。
- ⑤ あなたが他者から大切にされたと感じた時はどんな時ですか。
- ⑥ ほかのひとの話を聞いて思ったことや考えたことを教えてください。

テーマ4 尊重

- ① 「尊重」と聞いて思い浮かぶ言葉をカードの中から選び、理由を教えてください。
- ② あなたが、最近尊重されたと思うのは、いつですか？それはどのような場面でしたか？
- ③ そのとき、あなたはどのように尊重されましたか？
- ④ あなたが人を尊重したと思えるのはいつですか？。それはどのような場面でしたか？
- ⑤ そのとき、あなたはどのように尊重しましたか？
- ⑥ 他の人との関係において、大切だと思える言葉を選び、理由を教えてください。

7

実施にあたっての工夫

・ テーマ選定の配慮

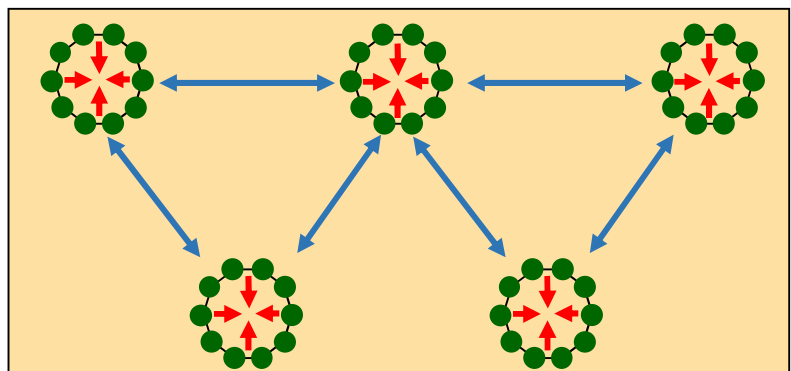
- ・ わかりやすさ・話しやすさと、RJの理念を架橋。

・ 参加に後ろ向きな児童生徒への対応

- ・ 無理には参加させないという姿勢。
- ・ 姿勢を学校の教職員にも共有。

・ 会場の工夫

- ・ 聞こえやすさへの配慮から、会場内（体育館・教室等）をできるだけ工夫。



8

中学生のリアクション

他者の再発見

- みんなの知らなかったところを知れて良かった。(多数)
- ふだん聞かないことも聞けた。(多数)
- 他の人が思っていることと自分が思っていることが一緒だった時それでも理由が全然違ってビックリした。
- 今、明るい人でも昔いろんなことがあったんだなと思いました。
- ○○先生の裏話が聞けておもしろかった。
- 寒色を出して、悲しい話なのかと思ったら、心温まるような話だったり、人によって色の感じ方は全然ちがった。

対話することの楽しさへの気づき

- 質問が普通の授業や会話では出ないことだったので、おもしろかった。
- ほかの人の悲しかったことや楽しかったこと、うれしかったことをきいて色々な気持ちがありました。ほかのことをきいて自分をふり返ったりもできたので良かったです。
- 「意見を出す=楽しい」に気付きました。
- ふだん考えさせられないことを考えさせられたから少しパスがあったが、自分の意見を言ったり聞くのはおもしろかった。
- 最初は、気持ちを伝えるのが恥ずかしかったけれど、だんだんやっていくと、楽しくなってきました。

形式に由来する気軽さ

- 色で表すのが楽しかった。(多数)
- 結論をださなくていいと気軽に言えることもある。
- 自分の気持ちを色で表すのは、言葉であらわすよりも、簡単というか、話しやすかったです。
- 少人数だったので、きんちょうせず、いいたい事がいえました。「発言しなくてもいい」というルールはすごくいいと思いました。
- 自分の言葉では表しにくいけど、カードがあるので、伝えやすかった。
- 人の意見を肯定したり否定したりせずに行うことがいい。

形式への不満

- 色で表すのは難しい。(多数)
- 去年は色で少し簡単だったけど、ことばになって急に難易度が上がった!
- カードの言葉だけでなく、自分の言葉でいいたい。
- みんな「です」「ます」だったので、もっと自由に話したかったです。
- 物を持っている人が話すというシステムにすると、自分が物を持ったら話さないといけないう気持ちが出てきてきんちょうした。みんなが発言すると自分もしなきゃと思ってしまう気がする。

9

学校・教員のリアクション

見える生徒層の広がり

- 自分の考えや思いを発言できない生徒も、次第に話すようになりました。
- 普段接する機会が少ない生徒からも様々な意見を聞くことができたと思うので有意義でした。

受容的な雰囲気への共感

- 教員とは違う方々のリードで話ができることが良いのではないのでしょうか。言葉がなかなか出て来ない生徒も受容されて良い雰囲気でした。
- キーパーの方がやさしい語り口で質問したり、色を使うことで話しやすい状況を作ったりと、子供たちも柔らかい表情で自分の事を話していました。
- 普段の話合い活動にもつなげられるようなルールだったりするので、それを意識していきたいと思いました。

配慮すべき生徒の指摘

- 男子が照れから、一生けん命にやれないので、やろうとしている女子がかわいそうだと思いました。
- 教師だけでやったときは、良い活動だなあと思えたのですが、自分がしゃべることによって、よゆがない生徒もいたような気がします。
- じっくり話す内容考える時間があまりないので、他の人が話している時視線を下げて考えている子がいて、それでもいいものなのか…と思った。
- 話合いの内容は何でも良いというお話がありましたが、留意すべき点などがあるのかなと思いました。
- 場面かんもくの子、色覚異常の子、鐘の音が気になる子、弱視の子の存在

実施する上で直面している課題

- 教職員の理解の薄らぎ
 - 異動で入れ替わっていく中で、RJサークルの理念を勘違いされることも。
- サークル・キーパーの不足
 - 平日・日中に実施されることが多いRJサークルのキーパーの確保に苦慮。時間に融通がつかう方しか参加がしづらい。
- 継続理由の説得性
 - 一般に教育活動は、児童生徒の変容が確認されることで継続していく。(児童生徒の変容が確認されない教育活動は、時間を割く積極的な理由が見出しづらい)
 - 活動を通した「個々の児童生徒のでき・ふできを評価しない」ことを大切にしているRJサークルは、教育活動の成果を可視化しやすい個々の点数化ではなく、集団の変容に求めるしかないが、その可視化が難しい。

11

おわりに

- 私たちは、誰もが居心地の良い学校が実現されるように、これからも学校においてRJサークルを実施していきます。
- もし活動にご関心をお持ちになった方は、Facebookをフォローしていただいたり、下記の手順で会員登録をお願いします。
 - ① 定例会・学習会の参加
 - 定例会：月1回 第二金曜日・Zoomにて
 - 学習会：2023年度より、ゲストを呼んで不定期開催
 - 参加希望はrestorativejusticeforum@gmail.comまでお願いします。
 - ② 会員登録
 - 年会費：3,000円（ゆうちょ銀行 00120-6-386659）
 - 入金後は、必ずrestorativejusticeforum@gmail.comまで連絡してください。
 - ③（入会后）メーリングリストへの登録、RJサークルのサークル・キーパー等活動参画のチャンス



[付記] 本報告は、2023年1月8日(日)に実施された講演・体験会「学校におけるRJサークル ～子どもの声を手がかりに～」における資料「修復的対話サークルの学校での取り組み(前田奈緒さん)」「RJサークル関係者の声(濱中稜さん)」をもとに、一部加筆の上で作成しています。

12